

〈財政用語解説〉

歳入

**自主財源** 市税や市の施設の使用料など、市が独自で調達できるお金

**【市税】**市民税や固定資産税など、市民の皆さんが納めた税金

**【諸収入】**貸付金元利収入など

**【繰越金】**前年度から本年度へ持ち越したお金

**【繰入金】**各種基金から特定の事業のために取り崩したお金

**【その他】**公共施設の使用料、各種手数料、財産収入、寄附金など

**依存財源** 地方交付税や国・県支出金など、国や県から市に入ってくるお金

**【国庫支出金・県支出金】**市の特定の事業に対し、財源の一部として国や県が支出するお金

**【地方交付税】**地方の財政格差をなくすため、国から地方公共団体へ交付されるお金

**【地方消費税交付金】**消費税8%のうち1.7%が地方消費税で、一定の基準により配分されるお金。消費税増税による増収分は、社会保障経費に充てます。

**【市債】**道路や公共施設を整備するために、国や銀行から長期にわたって借り入れるお金

**【その他】**地方譲与税、地方特例交付金、自動車取得税交付金など

歳出

**【民生費】**高齢者福祉や障害福祉、児童福祉などの経費

**【公債費】**市の借金などの返済経費

**【土木費】**道路や公園の施設整備・維持管理などの経費

**【衛生費】**ごみ、し尿処理、予防接種、健康診断などの経費

**【総務費】**総務管理や企画・税務事務などの経費

**【教育費】**学校や公民館などの改築・維持管理などの経費

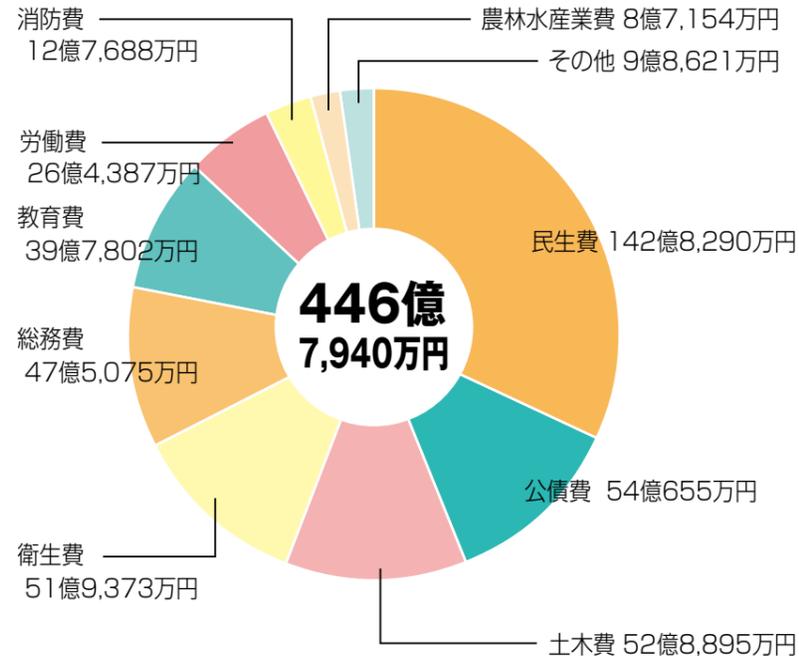
**【労働費】**労働対策などの経費

**【消防費】**消火・救急活動などの経費

**【農林水産業費】**農林業の振興などの経費

**【その他】**議会費、災害復旧費など

歳出



民生費・土木費



蓮華寺池公園環境整備事業 2億3,043万円

駐車場整備のほか、運動や遊びなどを通じた親子の触れ合いにより、子どもの体力向上や健やかな成長につなげるための施設「れんげじスマイルホール」の整備を行いました。

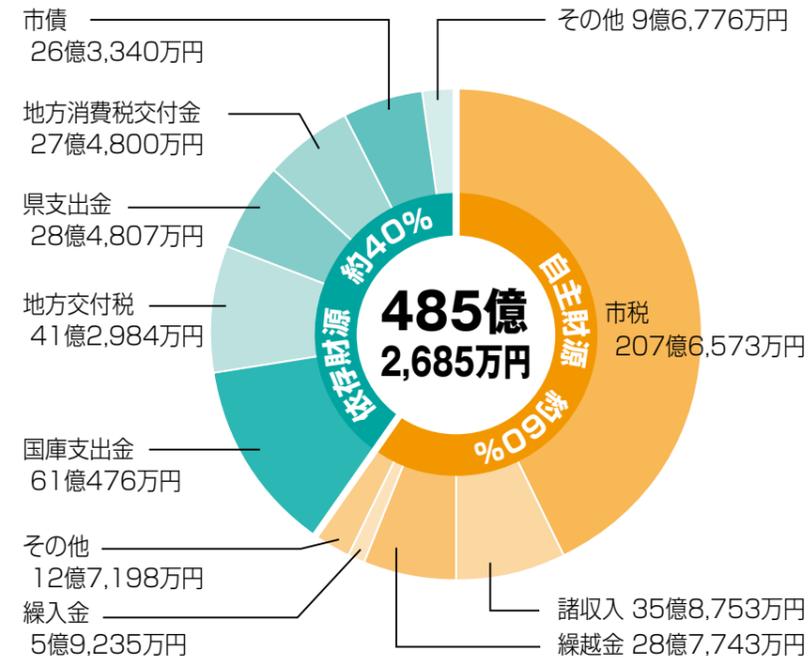
土木費

駅前一丁目8街区市街地再開発事業 10億9,756万円

平成29年度内の竣工に向け、再開発組合の建築工事などに対して補助を行いました。また、再開発区域内に新設する駐車場棟の土地分の取得を行いました。



歳入



一般会計

教育費

学校増築事業 1億4,492万円

児童数の増加に伴う教室不足を解消し、学習環境の改善を図るため、葉梨小学校の校舎増築工事を行いました。



藤枝地区公民館整備事業 5億8,259万円

生涯学習体制の充実を図るため、かねてから地元自治会より要望のあった藤枝地区交流センターの建設工事を行いました。



総務費

指定避難所マンホールトイレ整備事業 1,041万円

指定避難所におけるトイレ対策として、青島小学校と藤枝中学校にマンホールトイレを整備しました。



富士山静岡空港アクセスバス運行事業 1,310万円

本市の観光・商業の活性化、空港の利用促進を図るため、富士山静岡空港へのアクセスバスの運行を開始しました。



平成27年度 決算報告

藤枝市の家計簿

〜選ばれるまち藤枝づくり〜

平成27年度に市民の皆さんに納めていただいた税金は、よりよい市民生活を実現するために、さまざまな形で活用しました。税金の使い道などを市民の皆さんに知っていただくために、毎年2回、市の財政状況を公表しています。今回は、平成27年度決算をお知らせします。

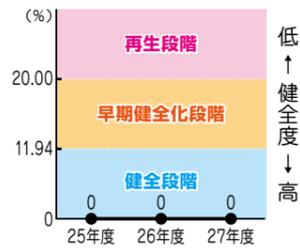
◎財政課 ☎643・3234

# 藤枝市の財政状況

本市の財政状況を、地方公共団体の財政状況を判断する5つの指標でみると、いずれの項目も早期に改善しなければならぬ基準（早期健全化の基準）を下回り、健全な状態です。直近3年間の状況をお知らせします。

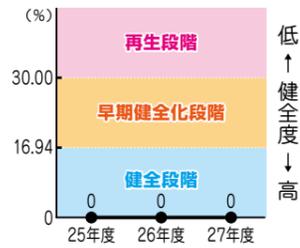
## ① 実質赤字比率→3年間赤字なし

一般会計に土地取得特別会計を加えた普通会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。  
本市は、両会計で黒字であるため、該当しません。



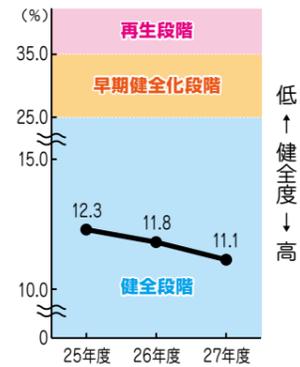
## ② 連結実質赤字比率→3年間赤字なし

市のすべての会計の赤字や黒字を合算し、市全体の財政運営の悪化の度合いを示すものです。  
本市は、全会計で黒字であるため、該当しません。



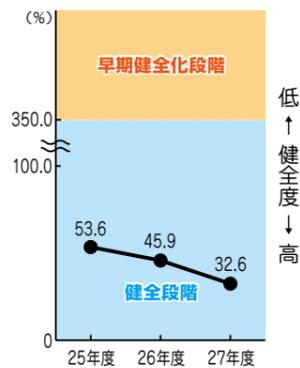
## ③ 実質公債費比率→0.7ポイント改善

借入金の返済にかかる負担の重さを示す指標で、市のすべての会計と一部事務組合（志太広域事務組合など）が対象範囲となります。  
本市は、平成26年度（11.8%）と比較すると、0.7ポイント改善され11.1%となりました。  
改善の主な要因は、地方債残高の削減により公債費が減少したことが挙げられます。



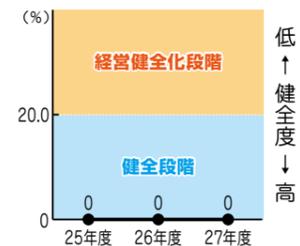
## ④ 将来負担比率→13.3ポイント改善

市のすべての会計の借入金や将来払っていく可能性のある負担などを、現時点で指標化し、財政への圧迫度を表すものです。  
本市は、平成26年度（45.9%）と比較すると、13.3ポイント改善され32.6%となりました。  
改善の主な要因は、一般会計の地方債残高の減少や、退職手当負担見込額の減少が挙げられます。



## ⑤ 資金不足比率→3年間資金不足なし

公営企業会計と簡易水道・公共下水道・農業集落排水事業の3つの特別会計の資金不足額の事業規模に対する比率で、経営状況の悪化の度合いを示すものです。  
本市は、すべての会計で該当ありません。



## 事業を効果的に行うために、基金（貯金）を活用

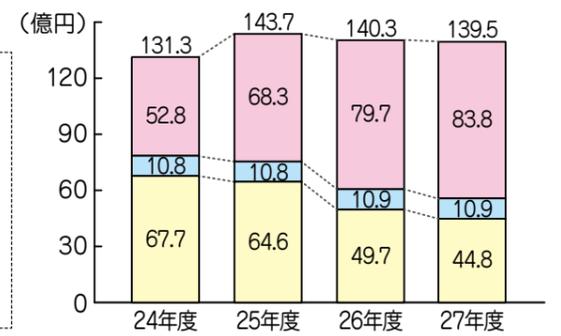
市の事業を効果的・効率的に進めていくために、いくつかの基金を積み立てています。平成27年度は、職員退職手当基金や緊急地震対策事業基金などの一部を取り崩しましたが、財政調整基金約4.1億円を新たに積み立てました。

### 各種基金の積立額

財政調整基金  
財源に余裕がある年度に積み立て、財源が不足する年度に活用します。

減債基金  
市債の繰り上げ償還などのために積み立てているものです。

その他の基金

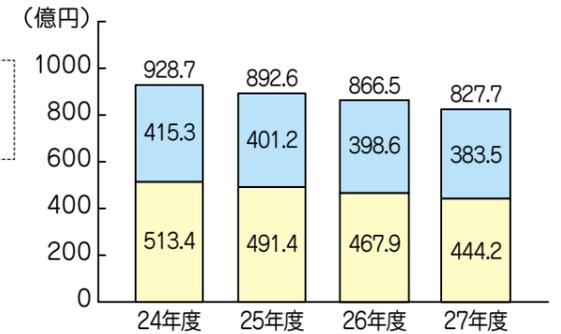


## 合併以降、市債（借金）残高は7年連続で減少

道路整備などのために借りたお金の残高は、7年連続で減少しました。平成27年度末までに、すべての会計で市債残高の合計を、平成22年度末から約69億円（6.9%）減らすという目標を2年前倒しで達成し、目標を大幅に上回る約168.2億円（16.9%）減らしました。

### 市債残高

特別会計・企業会計  
一般会計



## 特別会計・公営企業会計

### 特別会計決算額

国民健康保険や介護保険といった制度に伴う事業や、公共下水道および農山村地域の生活排水処理などの特定の事業を行うための会計です。

特別会計	収入額	内容
	支出額	
国民健康保険事業	167億6,046万円	医療費の支払いなど
	166億7,278万円	
簡易水道事業	3,508万円	簡易水道供給のための施設維持管理費など
	3,508万円	
土地取得	4,260万円	岡部宿内野本陣用地の一般会計への売り払いなど
	4,260万円	
公共下水道事業	31億7,079万円	浄化センターの施設更新整備など
	31億7,003万円	
駐車場事業	2,884万円	駅前駐車場の維持管理費など
	2,735万円	
農業集落排水事業	8,690万円	農業集落排水処理施設の維持管理費など
	8,690万円	
介護保険	105億2,061万円	被保険者へのサービスなど
	102億5,919万円	
後期高齢者医療	13億7,674万円	広域連合への保険料の支払いなど
	13億7,373万円	

### 公営企業会計決算額

市では病院事業と水道事業で、民間企業に準じた会計の方法を採っています。事業収支が収益状況を表し、この差し引きがいわゆる黒字・赤字といわれます。資本的収支とは、収益以外の収入と支出のことで、施設の整備や借入金の返済などです。

#### 病院事業会計

区分	決算額	内容
病院事業収益	159億2,668万円	診療に必要な医師や看護師などの人件費、薬の購入費など
病院事業費用	158億9,942万円	
資本的収入	9億566万円	医療機器の購入や借入金の返済など
資本的支出	15億3,339万円	

#### 水道事業会計

区分	決算額	内容
水道事業収益	25億2,973万円	上水道供給のための施設維持管理の経費など
水道事業費用	19億6,589万円	
資本的収入	4億6,376万円	水道管の耐震化工事や借入金の返済など
資本的支出	13億2,027万円	